



池田真佑良

絵を見る人の心に 明かりを灯したい

「伝統の日本画から生まれた
癒やしキャラクター「こてんし」
誕生のストーリー」

いけだまゆら

嵯峨美術短期大学日本画科卒業後
同大専攻科で古画(仏画、浮世絵など)
の模写を通して伝統的な技法を学ぶ。
現在は日本画の技法を活かし、日常
の中にある小物のスケッチやイラスト
「こてんし」などを制作するかわら
ち、朝日カルチャーセンターや自
宅のアトリエで絵画講座を開催し
ている。

Over the Rainbow
Story #001

日本画とスケッチを融合
した講座ができるまで

物心ついた頃から絵を描くのが好きで、
導かれるように美術の道に進んでいった池田
真佑良さん。大学では日本画を専攻し、仏
画や浮世絵などの古典作品の模写に打ち込
んだ。本物の岩絵の具を使い、伝統技法で
描く古典画に、池田さんは魅了された。
卒業後も日本画の制作手法を磨くため、
ある教室の門を叩いた。そこで池田さんは、
女流画家の伊藤はるみさんと出逢う。バブ
ル経済の余韻の中、日本画の人気は高まり、
伊藤はるみさんはみるみる売れっ子作家にな
っていった。その姿を間近に見て勇気づけら
れた池田さんは、伊藤さんにならない、正統
派の日本画制作に打ち込んだ。

しかし、画廊に出品してみると、思うよ
うに値段がつかない。時には、画商の求めで
描いた絵が「買い手がつかなかった」と、手
もとに戻ってくることもあった。日本画は、
作家のブランド名に注目が集まる世界。駆
け出しの池田さんの心に、現実が重くのし
かかった。池田さんは印刷デザインの仕事を
するかたわらで、絵を描き続けた。手描き
の絵には、デジタルデザインにはない、行き
あたりばつたりの面白さや妙味がある。その
魅力に、池田さんの心は支えられた。
池田さんはアトリエを開き、やがて、大



作品づくりの手順を見ながら絵が描ける、
池田さん自作のテキストも講座の人気秘訣。

手カルチャースク
ールで絵画教室
をはじめた。「マ
ツチ絵の具」と
いう色の透明感
が際立つ画材を
使い、日本画の
技法を取り入れ
て身近な食べ物
や雑貨を描くスケッチ教室は、人気講座にな
った。池田さんの手ほどきで、自分の絵がみ
るみる表情を増していくと、受講生の目が
輝いた。

立派な大人が、無心に絵に向き合う姿に
触れるのは、池田さんにとっても嬉しい瞬間
だ。「作品には、その人が奥に持つ「証し」
のようなものがあります。その人の持ち味
が作品に表現されるような講座にできれば」
と池田さんは語った。

「こてんし」の誕生

アトリエを開いた頃、池田さんに思わぬで
きごとが訪れた。少し前からガンを患ってい
たお父さんが、余命一カ月との宣告を受けた
のだ。証券マンだった池田さんのお父さんは
とても厳格な人で、池田さんは幼い頃から、
甘えることもできなかったそうだ。それで
も、芸術を理解し、画家になるのを応援し

てくれたお父さん。「父
にもっとしてあげられ
ることがあったのに」
と、後悔と葛藤の日々
が続いた。そんなある
日、気晴らしに何気な
くペンで紙にマルをい
くつか描いていると、
それが顔の輪郭のよう
に見えてきた。「マルの
中にパーツを描き足し、
羽を描き足してみまし
た。すると、そこには
とてもユルい顔の小さ
な天使「こてんし」の
姿が現れたんです。そ
の姿を見ていると、不
思議に表情が緩み、気
持ちは少し軽くなるの
に気づきました」。池田
さんは、次々と「こて
んし」を描いた。それ
まで「絵とは、時間を
かけて苦労をして描く
べきものだ」と思ってい
た池田さんにとって、
「こてんし」は思いがけ
ない作品だった。
とある作品展で「こ
てんし」のポストカー



うけとて いりんぽす mayura



あうちに ぼろり mayura



ソラに いっぱい! mayura

いつもこてんし!: 不思議キャラがほわんと あなたの心を軽くする [Kindle版]

池田真佑良 (著)
Amazon Services International, Inc.
Kindle 購入価格: ¥ 400



天使のようでもあり、
子どものようでもある
不思議な存在「こてんし」。
作品の中から20点を、
短いことばを添えて
紹介されている。おと
ぼけだけ頼もしい、こ
てんしパワーが感じら
れる一冊。

ドを展示すると、「セットで売って欲しい」
と声がかかった。「こてんし」を展示する中
で、池田さんはあることに気づく。それは、
病気を経験したり、大事な人を亡くしたり
した人が「なぜか癒やされる」と、次々と「こ
てんし」の絵を求めてくれたことだ。「振り
返ると、『こてんし』の中には、これまで仏
画の模写で描いてきた仏さまの柔和な表情
が宿っているように思います」。
「こてんし」の作品をまとめ、池田さんは
2015年5月に絵本「いつもこてんし!」
を電子出版した。「この絵を見てくださる方
の心に明かりが灯るなら、とても嬉しいで
す。そして、小さなことでもいいから、絵
を見てくれた人の何かのきっかけや後押しに
なれば」と池田さんは微笑んだ。